

# 2015年度（第2フェーズ） 活動報告

— 全員参加で、レガシーを全国津々浦々に —



プラチナ社会研究会  
レガシー共創協議会

## 2015年度活動を振り返って

レガシー共創協議会は、2014年4月の設立以降、産官学・異業種協働によるレガシー創出プラットフォームとして、レガシープランの提言やレガシー事業の具体化に取り組んでまいりました。ご参加いただいている団体は、2016年3月末現在、産官学231団体に達し、活発な活動が展開されています。

2015年度は、第2フェーズ（2015年4月～12月）として、3回の全体会を行うとともに、会員提案の38プロジェクトの具体化に向けた検討・推進を図ってきました。

また、2016年2月には、第2回レガシー共創フォーラムを開催しました。2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズを合わせた3年間で、ゴールデンスポーツイヤーズと称し、これらの世界大会を活用した地域活性化・地方創生に関する講演と、全国から参加頂いた160団体の自治体の皆様に対して、レガシー事業のパネル展示・発表を行いました。

本会の活動及び提言がレガシー創出の一助となること、またレガシー実現を通じて日本・世界が2020年に向けて、あるいは2020年を超えて、より良い社会になることを願ってやみません。



レガシー共創協議会会長  
間野義之  
(早稲田大学スポーツ  
科学学術院教授)

### <2015年度活動概要>

- 2015年 4月 第1回全体会  
 ・基調講演、報告  
 ・第2フェーズ開催計画、新規プロジェクト、既存プロジェクトの紹介
- 9月 第2回全体会  
 ・基調講演、報告  
 ・第2フェーズ活動状況報告、  
 『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシー共創』に関する提言公表、  
 レガシー共創フォーラム2015企画案、プロジェクト紹介
- 12月 第3回全体会  
 ・講演、報告  
 ・第2フェーズ活動状況報告、レガシー共創フォーラム案内、プロジェクト紹介、第3フェーズに向けて
- 2016年 2月 第2回レガシー共創フォーラム（東京ドームホテルで開催、579人参加）  
 ※詳細は「ダイジェストレポート」（別冊）を参照

## レガシー共創協議会について

目的	異業種・産官学の知恵の結集による2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する、 ①レガシー・プランの提言 ②レガシー事業・施策の能動的な創出
設立	2014年4月23日（プラチナ社会研究会の分科会として）
参加団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員231団体（2016年3月時点）</li> <li>● 会員（民間企業等）：147                      【主な業種】：健康・シニア、スポーツ、観光・交通、小売、電気・情報・通信、                      建設・不動産、素材・資材・設備、施設運営、金融、広告等</li> <li>● オブザーバー：84                      【主な構成】：府省、自治体、スポーツ関連団体、公的団体 等</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レガシー創出に向けた提言、情報発信（気運醸成）</li> <li>・レガシー共創に向けた場づくり（ネットワーキング）</li> <li>・レガシー事業、施策の具体的創出（インキュベーション）</li> </ul>

# 全体会

2015年度は、全体会を3回開催し、下表の方々よりレガシーに関連した講演をいただきました。

## <2015年度に開催した全体会>

第1回全体会 (2015年4月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・基調講演 ヨコ・ゼッターランド 様 (公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事)</li><li>・報告「オリンピック・パラリンピックレガシー創出に向けた文部科学省の考えと取組」 生田 知子 様 (文部科学省大臣官房対話型政策形成室長)</li></ul>
第2回全体会 (2015年9月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・基調講演「新・観光立国論」デービッド・アトキンソン様 (株式会社小西美術工芸社代表取締役社長)</li><li>・報告「2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合の取組」 樋渡 啓祐 様 (2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合事務局長、前武雄市長)</li><li>・報告「2020年に向けた社会全体のICT化アクションプラン」 飯村 由香里 様 (総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐)</li></ul>
第3回全体会 (2015年12月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演「これならわかる！共有価値創造戦略（CSV）－日本創生・地方創生で如何にレガシーを創造するか－」 笹谷 秀光 様 (株式会社伊藤園 常務執行役員)</li><li>・報告「関西ワールドマスターズゲームズ2021の取組」 東 直也 様 (一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会)</li><li>・講演「ラグビーワールドカップ2015イングランド大会での経験とRWC2019に向けて」 山田 章仁 様 (パナソニックワイルドナイツ、2015年ラグビーワールドカップ・イングランド大会日本代表)</li><li>・報告「ラグビーワールドカップ2015報告、ラグビーワールドカップ2019に向けて」 西機 真 様 (公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会)</li><li>・報告「2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－（素案）」 新保 幸裕 様 (東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部計画課計画課長)</li></ul>



ヨコ・ゼッターランド 様による講演



デービッド・アトキンソン様による講演



山田 章仁様による講演



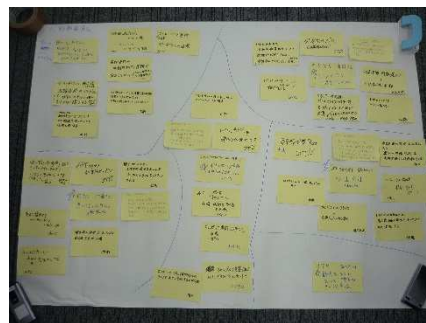
笹谷 秀光様による講演

## ワークショップの開催

2015年度は、新たなプロジェクトの導出を主たる目的として、5つのワークショップ（地方、健康、文化、ショーケース、サステナビリティ）を設置して、延べ14回の会合を開催しました。レガシーの創出を目指し新たなプロジェクトを6つ立ち上げました。

### <5つのワークショップの設置とプロジェクトの創出>

テーマ名	設定意図	創出されたプロジェクト ※（ ）内は提案者
地方	地方創生との一体的な推進によるレガシー事業・施策の可能性を探る。地方での機運醸成への貢献を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若手人材で興す！福島県インバウンド促進事業（朝日広告社）</li> <li>● 日本の祭り 地方創生プロジェクト（広友ホールディングス）</li> </ul>
健康	政策・技術・サービスの動向からレガシー事業・施策の可能性、特に、ニーズ起点や健康以外視点での可能性を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人向け行動変容を促す健康・医療情報プラットフォーム構築（協和日成）</li> <li>● “楽しめる要素”と“参加インセンティブ”を取り入れた「サスティナブルヘルスケア」の仕組み検討 ～ウェアラブルデバイスとアバター・ソーシャルゲームの活用～（日野市）</li> </ul>
文化	2016年度から開始される文化プログラム（文科省目標20万件）としての展開・提案可能性を探る。	なし
サステナビリティ	大会の持続可能性計画等への提案可能性、日本の先進技術・制度の海外へのPR・展開可能性を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーンベルト 緑化推進（住友林業緑化、セレスポ）</li> </ul>
ショーケース	政府・都推進の最新技術見本市9分野への提案可能性、最新技術以外や異業種連携によるショーケースの展開可能性を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪日外国人観光客移動行動履歴活用（ゼンリンデータコム）</li> </ul>



ワークショップの様子

# レガシー共創プロジェクト

ワークショップで創出した6つを含む38件のプロジェクト（フェーズ1からの継続27件+フェーズ2での会員提案5件+ワークショップからの立ち上げ6件）について、具体化に向けた検討、活動を行いました。現在、下表の8つのプロジェクトに関して、国や自治体の政策・事業として実施されてプロジェクトメンバーが受託したり、自らイベントを開催するという動きがみられています。

## <スタートアップステージの8プロジェクト>

プロジェクト名	提案者
障がい者スポーツの人材・技術活用促進研究会	日本パラリンピアンズ協会 三菱総合研究所
大学生観光まちづくりコンテスト（留学生編）	三菱総合研究所
「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ活動	マナーキッズプロジェクト
スポーツ合宿誘致マッチングシステム	三菱総合研究所 セレスポ
おもてなし認証	SGSジャパン
自転車走行空間ネットワーク化	イルカ
市民参加型「音楽の街」づくり	ヤマハミュージックジャパン 三菱総合研究所
キャッシュレス社会	三菱総合研究所



大学生観光まちづくりコンテスト（留学生編）



スポーツ合宿誘致マッチングシステム



「おもてなしの心を世界へ」記者発表



市民参加型「音楽の街」づくり

# レガシー創出に向けた提言

5つのワークショップおよび若者部会での討議を踏まえ、レガシー創出に向けた協議会としての提言（第Ⅲ部）を作成・公表しました。

詳細は協議会WEBサイト（<http://www.mri.co.jp/opinion/legacy/index.html>）をご覧ください。

## <協議会提言（第Ⅲ部）骨子>

	提言のポイント	レガシー事業・施策例
提言1 オリンピック・パラリンピックレガシーを活かした地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ロンドン大会では、情報発信（全国的なPR体制）、地方レガシープラン、文化プログラム、事前合宿、インスパイアプログラムなどの取組により、大会効果が地方にも波及</li> <li>◆ 東京大会でも、世界の注目、締切効果、士気高揚という大会の特徴を活かし、地方でのレガシー事業・施策のチャンス</li> <li>◆ 事業・施策を地域の課題解決につなげる方法と、大会後も持続可能とする仕組みづくり（民間の収益機会確保等）が鍵</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若手人材で興す！福島インバウンド促進</li> <li>• 日本の祭り 地方創生プロジェクト</li> <li>• 旅行弱者支援プラットフォーム構築</li> <li>• 日本が世界に発信する未来型パーク</li> </ul>
提言2 オリンピック・パラリンピックレガシーを契機にした持続可能な社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国内外からの注目・来訪が集まる大会は、持続可能な社会実現に向けた意識変革や仕組み導入の絶好のチャンス</li> <li>◆ 大会のサステナビリティプランや調達コードで導入した仕組みを、大会後の社会全般に展開</li> <li>◆ 特に、グリーン化推進、全員参加型社会、持続可能な調達に取り組むことを提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 持続可能なエネルギーネットワークの構築</li> <li>• 緑化推進（マラソンのコースの緑化）</li> <li>• 旅行弱者支援プラットフォーム構築</li> <li>• 全員参加型調達</li> <li>• 都市鉱山メダル製作</li> </ul>
提言3 個別分野 (1)文化プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ロンドン大会の18万件を上回る20万件を目標とする東京大会での文化プログラムは、大会後の継続開催を前提とした事業計画を策定すべき</li> <li>◆ 鑑賞型ではなく、参加型のプログラムを重視することで、地域の社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の蓄積を目指す</li> <li>◆ 継続的な開催のためには、企業の投資（CSV）を呼び込む工夫が重要（プレイベント、非公式スポンサー参加の枠組み等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お茶をめぐる国際文化交流会、お茶と○○○で日本を美しく</li> <li>• まちを元気にするマイナースポーツイベント</li> <li>• 障がい者スポーツ報道写真展</li> <li>• 障害者とコラボした音楽ユニットによるコンテスト</li> </ul>
提言4 個別分野 (2)健康サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 医療費削減や産業創出の観点から、国民の健康活動や企業の健康経営を促進する政策の優先順位が高まる中、健康分野のレガシーへの期待も大きい</li> <li>◆ 健康関連サービス・技術が多数展開されるも、健康無関心層の取り込み、健康活動の継続、サービス基盤の統合が課題</li> <li>◆ スポーツ以外の切り口や個人の行動変容を促すアプローチをレガシー事業・施策として展開することを提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ウェアラブルデバイスを活用したヘルスケアソーシャルゲーム</li> <li>• 個人の行動変容を促す健康・医療情報提供サービス</li> </ul>
提言5 個別分野 (3)ショーケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 世界からの来訪・注目を活かして、日本の技術やサービスを紹介するショーケースは、長期的な事業展開の中で位置づけるべき</li> <li>◆ 最先端技術だけにフォーカスするのではなく、相手側（売り込み先）のニーズに合わせた展示・体験内容とすべき</li> <li>◆ 技術・サービスの紹介だけでなく、人と人のつながりを形成するイベントや商談会を重視すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「臨場感」「超臨場感」技術による新しいコンテンツ体感の実現</li> <li>• 訪日外国人観光客の移動行動履歴の活用</li> </ul>
提言6 若者からの提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 若者は、ツグモノ（過去・魂を継ぐ者）であり、ツナグモノ（未来・次世代に繋ぐ者）である</li> <li>◆ 自由・選択肢・可能性があるという特性（強み）をフルに活かし、過去を踏まえつつも2020年大会を契機とした新たな社会・レガシーづくりに自ら能動的に参画する</li> <li>◆ ツナグモノとして、全世代の人々を巻き込み、若者全体を底上げする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ユースシンクタンク</li> <li>• Para-OUTLOUD JPN.ver</li> <li>• ニュースポーツサポートセンター</li> <li>• ローカルシェアチャレンジ</li> <li>• 地方における訪日外国人観光客と若者観光ガイドのマッチング</li> <li>• 日本のエネルギー利用から見る「もったいない」文化のPR</li> </ul>

# 会員一覧

レガシー共創協議会は、多分野に亘る業種の民間企業に加えて、中央省庁・自治体等の公的機関、スポーツ団体、財団・NPO、大学など産官学の幅広い会員に参加して頂いています。2016年3月時点で会員数は、231団体となりました。

## <レガシー共創協議会 会員・オブザーバー一覧> 全231組織（会員147、オブザーバー84）

[会員]	[オブザーバー]
株式会社アイティワン	株式会社電通国際情報サービス
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	株式会社電通パブリックリレーションズ
アクトイ株式会社	東亜道路工業株式会社
株式会社アサツー ディ・ケイ	株式会社東急コミュニティー
株式会社朝日広告社	東急不動産ホールディングス株式会社
株式会社朝日新聞社	東京海上日動火災保険株式会社
アディダス ジャパン株式会社	東京ガス株式会社
株式会社アルファフォーラム	東京建物株式会社
株式会社安藤・間	東京電力株式会社
EMCジャパン株式会社	株式会社東京ドームスポーツ
株式会社伊藤園	株式会社東京都市銀行
株式会社イトーキ	東京美装興業株式会社
株式会社イルカ	株式会社東芝
エムサービス株式会社	株式会社ドコモ・インサイトマーケティング
株式会社エスエスケイ	凸版印刷株式会社
SGSジャパン株式会社	株式会社豊田自動織機
NECネットエスアイ株式会社	トヨタファイナンス株式会社
株式会社エムオーテック	日建設計総合研究所
大阪ガス株式会社	日産自動車株式会社
株式会社大林組	日勝スポーツ工業株式会社
小田急電鉄株式会社	日天株式会社
株式会社オリエンタルランド	日本アイ・ビー・エム株式会社
鹿島建設株式会社	一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会
株式会社カナデン	日本応用老年学会有限責任事業組合
株式会社カナモト	一般社団法人日本健康倶楽部
川崎重工業株式会社	日本コンベンションサービス株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	日本GE株式会社
株式会社九電工	日本信号株式会社
株式会社協栄	一般社団法人日本スポーツ&ボディ・マイスター協会
共同印刷株式会社	日本電気株式会社
株式会社協和日成	日本電気株式会社 中央研究所
キリン株式会社	日本ヘルティ株式会社
近畿日本ツーリスト株式会社	野原産業株式会社
株式会社熊谷組	株式会社乃村工務社
クリナップ株式会社	野村不動産株式会社
株式会社クレメンティア	株式会社博報堂
広友ホールディングス株式会社	バシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社コスモイニシア	株式会社バスポート
株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン	バナソニック株式会社
株式会社コングレ	びあ株式会社
医療法人社団榎整会	BSIグループジャパン株式会社
サントリーパブリシティサービス株式会社	株式会社日立製作所
株式会社CF-Station	株式会社日比谷花壇
株式会社ジェイティビー	フリップ モリス ジャパン株式会社
株式会社JTBコミュニケーションズ	株式会社フジクラ
株式会社ジェーシービー	富士ゼロックスシステムサービス株式会社
株式会社 シミズアウト	富士通株式会社
清水建設株式会社	富士電機株式会社
シンコースポーツ株式会社	富士フイルム株式会社
シンフォニアテクノロジー株式会社	株式会社マイスター60
スポーツクラブNAS株式会社	美津濃株式会社
NPO法人 スマイルクラブ	株式会社三越伊勢丹ホールディングス
住友電気工業株式会社	三菱地所株式会社
住友不動産エスフォルタ株式会社	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社
住友林業緑化株式会社	三菱重工業株式会社
株式会社セールスフォース・ドットコム	三菱樹脂株式会社
株式会社セレスポ	三菱総研DCS株式会社
株式会社ゼンリンデータコム	株式会社三菱総合研究所
総合警備保障株式会社	三菱電機株式会社
ソービジネスソリューション株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	株式会社Minorソリューションズ
株式会社大伸社	明豊ファシリティアワークス株式会社
大成建設株式会社	株式会社山下設計
大日本印刷株式会社	株式会社ヤマミュージックジャパン
大和リース株式会社	ユアサコオビス株式会社
高砂熱学工業株式会社	ユアサ商事株式会社
株式会社竹中工務店	横河ソリューションサービス株式会社
株式会社丹青社	株式会社読売新聞東京本社
株式会社地球快適化インスティテュート	株式会社 LIXIL
千歳興産株式会社	菱電商事株式会社
TSP太陽株式会社	株式会社ルネサンス
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社	株式会社ワコール
株式会社電通	ワタミファーム&エナジー株式会社
	など
	経済産業省
	経済産業省関東経済産業局
	国土交通省 観光庁
	国土交通省 国土政策局
	国土交通省 都市局
	総務省
	法務省
	文部科学省 スポーツ・青少年局
	文部科学省 大臣官房
	オーストラリア大使館
	全国知事会
	青森県
	足立区
	厚木市
	石川県
	茨城県
	大阪府商工労働総務課・大阪産業経済リサーチセンター
	香川県
	鹿児島市
	川越市
	川崎市
	神戸市
	埼玉県
	滋賀県
	静岡市
	杉並区
	仙台市
	千葉市
	東京都
	豊橋市
	長崎県
	長野県
	新潟市
	浜松市
	日野市
	松戸市
	三重県
	山形県
	山梨県
	横浜市
	一般社団法人アスリートネットワーク
	一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会
	公益財団法人健康・体力づくり事業財団
	公益財団法人笹川スポーツ財団
	公益財団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局
	千代田区サッカー協会
	一般社団法人日本アスリート会議
	公益財団法人日本体育協会
	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会
	日本パラリンピック委員会
	特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会
	公益財団法人日本陸上競技連盟
	特定非営利活動法人MIPSスポーツプロジェクト
	一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
	公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会
	筑波大学
	東京大学
	東洋大学
	立教大学 立教セカンドステージ大学
	流通経済大学
	2020東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等富士北麓誘致連絡会議
	The Leisure Database Company
	特定非営利活動法人海ロマン21
	株式会社海外需要開拓支援機構
	経済人コーポレーション日本委員会
	こころの東京革命協会
	特定非営利活動法人ジャパン・トラベルボランティア・ネットワーク
	一般社団法人食農共創プロデューサーズ
	特定非営利活動法人 スポーツコミュニティ 鯉井沢クラブ
	一般財団法人長寿社会開発センター
	公益財団法人東芝国際交流財団
	学校法人新潟総合学院 FSGカレッジリーグ国際部
	一般社団法人日本経済団体連合会
	公益財団法人日本財団
	株式会社日本政策投資銀行
	日本政府観光局(JNTO)
	NPO法人 日本ホスピタリティ推進協会
	公益財団法人日本レクリエーション協会
	一般財団法人ニューメディア開発協会
	一般社団法人福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会
	米国医療機器・IVD工業会
	公益財団法人マナーキッズプロジェクト
	など

## *Beyond 2020, Tokyo, and Sector*

レガシー共創協議会への入会をご希望の場合は、下記事務局までご連絡ください。

### 【お問い合わせ先・お申込み先】

プラチナ社会研究会 レガシー共創協議会 事務局  
<http://www.mri.co.jp/opinion/legacy/index.html>

E-Mail : p42legacy-info@mri.co.jp  
TEL : 03-6705-6009 (プラチナ社会研究会事務局)  
03-6705-6098 (レガシー共創協議会事務局)